

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2008年度
Bコース（備品購入応援コース） 助成事業報告書

年 月 日

団体名（ふりがな） パソコン要約筆記文字の都仙台（ばそこんようやくひっきもじのみやこせんだい）

購入物品名 小型ゲームプレーヤーPSP 5台

連絡担当者お名前（ふりがな） 山口 泰子（やまぐちやすこ）

助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。
（購入した物品の写真は必ず添付してください。）



PSPを使った情報保障を宮城でも行えるように、PSPゲーム機5台を購入いたしました。

接続実験を行い、無事5台のPSPに字幕情報を送れることが確認できました。

今年度は、実際に現場に出す前に、会員が使用方法をきちんと学び、安心して情報保障の現場で利用できるようにしている最中です。2009年4月より希望があればPSPでの情報保障もあわせて提供していく。

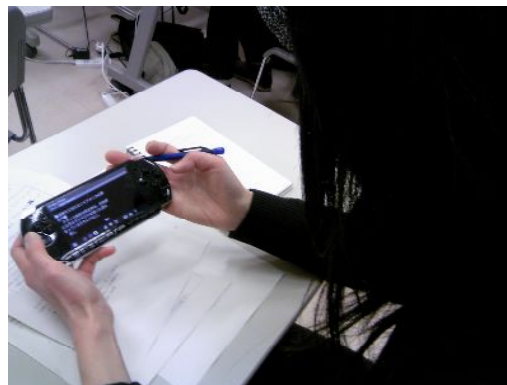
平成21年1月24日 19:00より、NPOプラザにて、
「PSPを利用した情報保障の研修会」を開催。

県内外より、パソコン要約筆記の活動者が20名受講した。
PSPを使っての情報保障技術は、県外でも注目度が高く、興味深く受講していただき、東北各県の情報交換と交流の場になった

助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。(続き)



講習会の様子



実際に文字をP S Pに文字を送る



講師は、当会のメンバー2名が担当した。

受講生の質問に答える講師。

今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

現時点においては、東北各県の中で、いち早くP S Pの導入を果たし、研修会を行って、情報提供をしたことにより、宮城県が中心となり、東北全体のレベルアップに貢献した

2009年4月より、P S Pを使った情報保障を実際に現場で実施する。このことによって利用者の利便性が劇的に向上すると思われる。

かねてより、聴覚障害者団体からの関心が高く、首都圏では既に実施されており、宮城でもこのシステムが使えるようにして欲しいとの要望があった。今までスクリーンやパソコン画面から得ていた通訳情報が、手元のゲーム機に無線で送られるので、利用者は会場内を自由に移動したり、情報保障を受けていることを、他人に知られずに利用できるというメリットがある。

このシステムが普及すれば、いままで物理的に制限のあったパソコン通訳の利用範囲が格段に広がり、利用者の社会参加の向上が図られる。

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

P S Pを利用した情報保障の現場を出来るだけ増やし、利用者に利便性を実感してもらおう。
小型ゲーム機という特性上、まだ、利用者にも馴染みが無いため、利用者にも使用方法を学んでもらい普及に努める。

その際必要なものとしては、
システムがまだ安定しておらず、停止や不具合に見舞われたさい、トラブル対応の技術が必要。
会員間でさらに研修を積み、技術レベルアップに努める必要がある。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	98,600	
自己資金	5,800	
合計	104,400	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
P S P5台	74,400	ソニーPSP3000KPS 3台
	30,000	ソニーPSP2000IS 2台
合計	104,400	

※申請時、PSP4台と無線LANルーター1台の予定であったが、無線LANルーターは当会所有物を修理することにより、使用可能となったため、今回は購入せず、代わりにPSPを1台追加しPSP5台の購入とした。金額が異なるのは、新型の発売時期と重なったため、予算を鑑み、新・旧機種の混在購入となった。

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

- ・IT関連製品は、日々変化が激しく、利用者への利便性を考慮した時、新製品での対応に資金面で苦慮していたのが現状であった。
- ・今回の助成金により、機材を購入でき、利用者への利便性と会員のレベルアップが同時に図られたことが、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。